

■農業委員の公募状況(令和3年3月15日)

1. 被推薦者数 0人  
2. 応募者数 3人

○農業委員応募・推薦者一覧

応募・推薦の別	応募者(被推薦者)	職業	年齢	性別	経歴	農業経営の状況	認定農業者の別	農地利用最適化推進委員(推薦)の別	応募(推薦)理由	推薦をする者							
										団体等				農業者等			
										名称	代表者の職・氏名	目的	構成員の人数	氏名	職業	年齢	性別
1	応募 よしだ かずや 吉田 和也	無職	62	男	・平成2年～ 就農	(現在休業中) 水稻 自作地31,000㎡	-	無	現在の犬熊町農業環境はきわめて厳しい状況であるが、今後町内に帰還して、農業を始める農業者が希望を持ち従事するには、農地環境整備・集積・保全のハード面や従事する担い手の育成などのソフト面など行政や農業委員会の役割は重要であり必要でもある。そのような、犬熊町農業の再出発に貢献したい。	-	-	-	-	-	-	-	
2	応募 ふじもり こうき 藤森 幸喜	農業	61	男	・昭和55年4月1日～ 就農 ・平成30年7月8日～ 農業委員	(現在休業中) 梨(日本梨・洋梨) 自作地19,000㎡ 借地 3,000㎡	○	無	大震災から10年がたち、農業現場への影響は今もなお残り、手つかずです。どうか犬熊町の営農再開にメドが立ち、その手助けができればと考えております。	-	-	-	-	-	-	-	
3	応募 たなか としただ 田中 利忠	農業兼会社役員	65	男	・昭和55年12月～ 就農	(現在休業中) 水稻、大豆 自作地12,709.32㎡	-	無	就農、40年、また、農地法人の役員、稲作時にはオペレーターとして従事、転作時には、大豆、麦、ブロックローテーションを地域住民と話し合い、耕作してきた。震災後の農地活用等、町の農業再生に農業委員として関わっていききたい。	-	-	-	-	-	-	-	